

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		企画業務費 [実施計画策定事務]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	1			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	企画		課		企画担当		係	課長名	荒井 亮二		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2			
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書 (ページ)	122			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 第四次基本計画に掲げた目標の達成と新たな行政需要に的確に対応するために市が行う事業(主要事業)				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 主要事業として選定した事業数(令和3年度~4年度)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 主要事業として選定した事業について、今後の予算編成の指針とするため東大和市実施計画に掲載する。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 東大和市実施計画(令和3年度~4年度)に掲載した主要事業の数(2か年別)						
	③ そのために何をしましたか。 主要事業及び経常的財政収支については、東大和市実施計画(令和元年11月策定)に掲載した令和3年度及び4年度の内容を基に、必要な修正を行い掲載した。市財政の現状については、見やすさやわかりやすさの向上を図るため、内容の見直しを行った。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①主要事業の査定等の回数 ②各部への内容確認依頼回数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	事業数	①(31年度)103事業 ②(32年度)94事業 ③(33年度)82事業	①(2年度)121事業 ②(3年度)104事業 ③(4年度)100事業	①(3年度)104事業 ②(4年度)100事業					
	成果指標	②の数値	事業数	①(31年度)103事業 ②(32年度)94事業 ③(33年度)82事業	①(2年度)121事業 ②(3年度)104事業 ③(4年度)100事業	①(3年度)104事業 ②(4年度)100事業					
目 標	②の目標値	事業数	目標値設定の考え方								
活動指標	③の数値	回	①6 ②1 ③随時	①8 ②1 ③随時	①7 ②1						
3 経費	事業費(実績)		円	7,120	9,430	7,961		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	7,120	9,430	7,961					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.25	0.25	0.10					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	2,061,000	2,077,500	838,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	2,068,120	2,086,930	845,961						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成15年度								
	(2) 環境の変化		第四次基本計画に掲げた目標の達成と新たな行政需要に対応することを目的として、毎年度ローリングによる見直しを行っている。近年は、厳しい財政状況が続いており、財政収支の見直しにおいて、財源の不足見込額が増加している。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発令に伴い、実施計画策定の時期に、職員の出勤が制限され、全庁的に優先順位をつけた業務の遂行を求められたことや、その職員体制の中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策など新たな業務に対応することが求められたことなどから、東大和市実施計画(令和元年11月策定)の内容を基に、必要な修正を行い、計画を策定した。								

事業名称	企画業務費 [実施計画策定事務]			
担当部署・課長名	企画	課	企画担当	係 課長名 荒井亮二

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	今後も、厳しい財政状況の中、第四次基本計画に掲げた目標の達成と新たな行政需要に的確に対応するために、効率的で効果的な事業の選択が必要である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、東大和市実施計画(令和元年11月策定)の内容を基に、必要な修正を行い、計画を策定した。市財政の現状については、見やすさやわかりやすさの向上を図るため、内容の見直しを行った。			
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)			
	人口減少や少子高齢化の進展、公共施設等の老朽化、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の財政状況は更に厳しくなることが予想される。そのような状況の中でも、現在策定作業を進めている第五次基本計画に掲げる目標の達成と新たな行政需要に的確に対応するために、実施事業の優先順位付けや財源確保が大きな課題である。			
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 各事業担当課において、効率的かつ効果的な事業実施に向けて、徹底した既存事業の見直しや新規事業における費用対効果の分析等を行う。また計画の策定プロセスについても、見直しを行い、効率的に作業を実施したい。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
既存事業については、令和2年度に実施した業務分析の結果や施策評価・事務事業評価の結果、市民ニーズの分析結果(市民意識調査、アンケート等)に基づき、内容の見直しを図るとともに、徹底した経費削減等を図る。また、新規事業については、市民ニーズの分析結果(市民意識調査、アンケート等)を把握するとともに、民間活力導入(委託、指定管理者等)や類似事業との整理統合等について十分検証を行い、事業内容を検討する。また、併せて、事業実施のための財源確保の方法を検討する。				